

# 一 般 質 問

## 住宅リフォーム助成制度実現を！

広 田 清 晴 議員

**問** 町民が「住宅リフォームを町内業者で行う場合」助成する制度を実現するよう求める。

**答** この制度により住宅の改善の促進と地域経済の活性化を図るとともに中小零細業者の仕事おこし、経済振興を推進する。

現在副町長、総務課、財政課、政策企画課、建設課で検討している。この制度を整備しようと考えている。

**問** 医師・看護長・事務局長会議に現場の生の声が反映するよう求める。



**答** 今年4月から訪問看護ステーションの管理者と、在宅介護支援事業の代表者を新たに加え行っている。尚一層職員の意見を聞くよう努力する。

**問** やすらぎ苑の増床（30床）計画は町民の現状、経営上からも必要では。

**答** 大島病院の移転新築後、療養病床60床の稼働率、医療介護の報酬体制の動向を調査し検討していく。

**問** 公営企業局（3病院2老健及び看護学校）でのサービス残業の根絶を求める。

**答** 勤務時間の管理については十分配慮している。業務負担軽減のため「医療安全対策会議」等で業務改善して行く。

その他、国民健康保険税の引き下げと指定管理引き継ぎのありかたについて質問した。

## 学校跡地の維持、管理は！ 大地震への備えは！

今 元 直 寛 議員

**問** 閉校した小、中学校の維持、管理は。

**答** 校舎及び附属施設内外の点検管理は、教育委員会職員が月1回の見回りを行い、建物の異常、学校周辺の状況報告を受けて対処している。

**問** 学校敷地内の雑草除去、樹木の剪定、清掃等の環境整備を、地元自治会等へ協力を求める考えはないか。

**答** 閉校した一部の学校では、グラウンドを利用している地域の方をお願いしているのが現状。それ以外の学校は、当面は「緊急雇



用創出事業」で対応していきたい。今後支障が生じた場合は、その都度自治会等に相談していきたい。

**問** 閉校した跡地施設の有効活用は。

**答** 町内の学識経験者、議会議員、地域住民代表の方々からなる「学校跡地施設利用検討委員会」で検討している。新たに閉校した学校も同委員会を立ち上げ検討する。

**問** 学校以外の町管轄の建築物、橋梁等の耐震性は。

**答** 地震発生後の避難場所18ヶ所は耐震性を満たしている。橋梁については、本年9月までに耐震調査は完了するが、特に損傷激しい屋代の吉井橋、出井の出井橋、久賀の御幸橋は補修工事を実施する。

